

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園藤沢	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 高橋里恵	定員（利用人数）： 80名（83）	
所在地：〒251-0052 藤沢市藤沢989-4		
TEL：0466-54-8989	ホームページ：https://www.like-kn.co.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年11月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ライクアカデミー		
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員 7名
専門職員	看護師 1名	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室6・遊戯室1・給食室1 ・事務室1・休憩室1	多目的トイレ・エレベーター

③理念・基本方針

「こども理念」 のびやかに育て だいちの芽
「保育方針」 みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛
目指す保育園像
・陽だまりのような保育園 ・地域と共に育つ保育園 ・子どもと共に輝いていける保育園
「保育目標」
・自分で考え行動し意欲と根気のある子ども・自然を愛し心身ともに健やかな子ども
・「仲間」と関わり人を思いやれる子ども・自己を表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

・法人の理念をもとに職員で1年かけて話し合い「藤沢園として目指す子どもの姿とそれに向けた保育」を作成。それをもとに月のねらいや内容を考えていくことで全職員が同じ方向を向いて保育を行っている。「安全管理」「保育環境」に関するリーダーをそれぞれ専門リーダーが担い自発的に向上に向けての取り組みを行ったり、各クラスの活動に対する自由度をたかめることで、職員一人一人が園の子ども達のために保育を含め様々な活動が意欲的に行えるようにしている。
・子ども達が「やりたい」と思うことに夢中になって取り組めるよう、子どもの思いを受け止めながらクラスの環境を常に見直している。玩具の入れ替えが育ちに応じてスムーズに行えるよう玩具や絵本のバックヤードを作っている。
・自然と触れ合いながら様々な学びを得られるよう、今年度初めに職員と子ども達で協力して園庭に畑を作り、芋や大根を育て食育へとつなげている。砂、泥遊びを思う存分楽しめるよう、園庭玩具の充実を行ったり、散歩先で虫取りや自然物集めを職員が率先して積極的に行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月28日（契約日） ～ 2022年3月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

子どもの思いに添った人権を大切にした保育に力を入れている

自然の中で子どもたちが様々な体験ができるように、職員一同が同じ思いで保育を行っており、その質をさらに向上させようと一人ひとりが高い意識を持って取り組んでいる。子どもが主体的に遊び込めるように、環境と時間の工夫をしており、絵本や玩具の定期的な入替えや環境設定の見直しも行っている。子どもが友達と一緒に生活や遊びを展開させ主体的に動けるよう、子どもに寄り添った保育に力を入れている。

専門職との連携により、園の質をさらに向上させている

看護師、栄養士などの専門職が職員と連携し、子どもに対する健康教育、食育指導に力を入れて取り組んでおり、感染防止のための環境設定をしたり、子どもの作った野菜を献立に取り込んでいくなど、保育に深く関わることで園の質をさらに向上させている。子どもが健康に興味を持つことや、食に興味を持つことにつながっており、また保護者にむけても情報提供を行い園での取り組みへの理解を深められるようにしている。

子どもの気持ちの尊重については、保護者からも高い評価を得ている

園の目指している保育理念・基本方針・保育目標は、ホームページや、各種パンフレット、園内に掲示して、保護者・来園者に明示するとともに職員が日常的に意識できるようにしている。また、職員には年度初めの職員打合せで理解を深めている。保護者アンケートの、「子どもの気持ちが尊重された対応がなされているか」、「プライバシーに配慮されているか」、「職員の言葉遣いや態度は適切か」の設問については、高い満足度が得られており、子ども一人ひとりの発育状況や気持ちに沿った保育が実践されていることがうかがえる。園の日頃からの取り組みが保護者から評価され、成果がえられていることがうかがえる。

◇改善を求められる点

子どもにわかりやすい説明について園内研修で理解を深めている

個々に合わせたわかりやすい説明や、状況に応じた対応、言葉遣いなどについては園内研修で学び合い理解が深まるように取り組んでいる。対応については、活動時間に余裕を持つなどの提案がなされており、継続して取り組んでいる。

コロナ収束の際には地域資源のさらなる活用など地域との連携をさらに深めること目指している

園では地域の社会資源を園児に還元したり、園児が職員以外の地域の人々と関わる機会作りを大切にしている。、ただし、新型コロナウイルス対策として現在は近隣の公園への散歩などの活動に制限されている。例年取り組んでいた高齢者施設へ訪問をはじめ。近隣の商店の方をお祭りに招待したり、未就園児への園庭解放、保育体験、本貸出等は中止を余儀なくされている。コロナ収束後には、さらに様々な取り組みを拡充し再開を目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園内研修で保育の見直しを続けていましたが、今回、別の様々な角度から自分たちの保育を改めて見直すことができました。特に感染症の影響で他施設の保育を見たり、他施設の職員と学び合う機会が減り、自分たちだけで自分たちの保育を見直す時間がふえていたため、外部機関からの助言や保護者からの伝えづらいと思われる意見を聞いたことは、とてもありがたいことでした。今回、得た気づきを職員と共有、改善にむけて話し合いながら、子ども達を中心としたより良い保育を行っていきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり